



2018年11月26日

Press Release

奈良先端科学技術大学院大学
株式会社 LIFULL

LIFULL、奈良先端科学技術大学院大学と住環境センシングの共同研究を実施 ～ 居住環境品質を同一基準で比較検討可能に ～

総掲載物件数 No.1 の不動産情報サイト「LIFULL HOME'S」等の住生活情報サービスを提供する株式会社 LIFULL（ライフル）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井上高志、東証第一部：2120）は、2018年11月26日（月）より奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科ユビキタスコンピューティングシステム研究室（以下「NAIST ユビ研」）の諏訪博彦助教と、住宅における環境センシングに関する共同研究を実施します。

このたびの共同研究は、あらゆるデバイスがネットワークでつながるユビキタス社会における次世代型サービスの研究を進めている NAIST ユビ研と連携して、環境センシング技術を活用して居住環境の品質を可視化することを目指しています。これまでは物件ごとの室温や日当たり、騒音など実際に住んでみなければわからなかった居住環境の品質が、この研究によって、同一の基準で数値化、可視化されることで消費者が比較検討しやすくなると同時に、物件価値の適正な評価も可能となります。

■共同研究の概要

今回の実証実験は、11月26日（月）～12月17日（月）（予定）に東京都内の約50軒の賃貸空室物件の室内外に環境センサーを設置して、気温や湿度、照度、騒音、紫外線などのデータを収集し、下記の観点からデータ分析を行います。

- ・収集する項目や収集期間等のデータ収集基準についての検証
- ・環境データに基づく居住環境の品質評価のための指標策定、スコアリング等についての検証
- ・環境データ収集実験によって得られた各種知見の分析

■背景と今後の展望

住まいは、「衣食住」というとおり、生活の基本要素のひとつです。しかし、「衣」や「食」に比べて高額な上、選択の機会が非常に少なく、多くの方はどこか不安を抱えながら決断をしなければならない現状があります。創業以来、テクノロジーによる不動産市場の革進に取り組んできた LIFULL グループでは、こうした不安を解消すべく、様々な情報の集約と可視化を進めてきました。主な取り組みとして、国内最大級の募集情報データベース（不動産ビッグデータ）に基づいて算出した中古マンションの参考価格が誰にでもひと目でわかる「LIFULL HOME'S プライスマップ」、専門家による住宅検査の結果をサイト上で閲覧可能な「LIFULL HOME'S 住宅評価」など、すでに提供中のサービスも多数あります。

こうした取り組みの一環として、今後は、関連企業とのパートナーシップなども検討し、研究規模の拡大、さらには実用化を目指します。

■ 奈良先端科学技術大学院大学 ユビキタスコンピューティングシステム研究室

大学名： 国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

所在地： 奈良県生駒市

研究室設立年月： 2011年4月

研究テーマ： 「ユビキタスコンピューティングシステム」に関する研究

「スマートホーム・スマートライフ・スマートシティ」に関する研究

「実世界からの情報の収集・分析・応用」に関する研究

ウェブサイト： <http://ubi-lab.naist.jp/>

■ 株式会社 LIFULL

所在地： 東京都千代田区麹町 1-4-4

代表者： 代表取締役社長 井上 高志

事業内容： 不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S(ライフ ル ホームズ)」の運営等

設立年月： 1997年3月

ウェブサイト： <https://LIFULL.com/>

【お問い合わせ先】

奈良先端科学技術大学院大学

企画・教育部 企画総務課 広報渉外係

TEL : 0743 - 72 - 5026 E-mail : s-kikaku@ad.naist.jp

株式会社 LIFULL コーポレートコミュニケーショングループ

TEL : 03 - 6774 - 1604 E-mail : Press@LIFULL.com